

第1学年 国語科学習指導案

児童 1年 男6名 女17名 計23名

授業者 教諭 高橋 しずか

すこやかサポート 岩脇 由佳

1 単元名 のりもののことをしらべよう 「いろいろなふね」(東京書籍 1年下)

2 単元について

(1) 教材について

本単元の主な指導事項は、C 読むこと (1) イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」及び、エ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」である。言語活動は、C (2) ウ「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。」、B (2) ウ「身近な事物を簡単に説明する文章を書くこと。」に対応する。

本教材は、1年生になって2度目の説明文である。「どうやってみをまもるのかな」では、「どうぶつひみつクイズ」を作るという目的を持ち、動物の「体のつくり」、「問いの文」、「答えの文」に着目しながら内容を読み取る学習を行ってきた。児童は、教材で学んだ基本文型を基に、自分の考えをまとめることができるようになってきたものの、大事な言葉を探しながら読書資料を読んだりまとめたりする経験はまだ少ない。

本教材は、4種類の船についての「やく目」と「つくり」の工夫について説明した文である。文章全体は、話題提示、4つの例示、まとめというように文章構成がとらえやすくなっている。4つの例示は、「やく目」を述べている段落、構造や装備などの「つくり」の工夫について述べている段落、機能について述べている段落から構成されている。これらは、同じ文型で繰り返し説明されており、順序に即しながら内容を正確にとらえるのに適した教材になっている。また、「やく目」と「つくり」という観点に沿って読書資料を読み、教材から学んだ説明の文型を生かしてカードを作成する活動を通して、読む力を身につけることができると考える。

(2) 本単元における言語活動について

単元を貫く言語活動として、「のりものじまんカード」を作成する活動を位置づける。乗り物の「やく目」「つくり」という2つの観点が、単元全体を通して整理して読み取ったり「のりものじまんカード」を書いたりするための要素であることをおさえさせたい。本教材で身につけた事柄の順序などを説明した文章を読む力を、「のりものじまんカード」を作り、乗り物自慢大会を行うという活動へつなげていきたい。

3 単元の目標

- いろいろな乗り物の「やく目」や「つくり」について興味を持ち、進んで本を読もうとする。【関心・意欲・態度】
- 書かれている内容の「やく目」と「つくり」について、分けて読み取ることかできる。【読むこと (1) イ】
- 自分の選んだ乗り物について「やく目」と「つくり」とに分けて「のりものじまんカード」にまとめることができる。【読むこと (1) エ】
- 文の中における主語と述語との関係に注意することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) イ (カ)】

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	読むこと	言語についての知識・理解・技能
・いろいろな乗り物の「やく目」や「つくり」の工夫に興味を持ち、調べるために本を読んでいる。	・「いろいろなふね」についてその「やく目」と「つくり」の工夫を整理し、関係付けながら段落ごとに読んでいる。	・自分の選んだ乗り物について「やく目」と「つくり」の工夫を整理し、関係付け「のりものじまんカード」にまとめている。	・文の中における主語と述語との関係に注意している。

5 単元の指導と評価の計画

次時	主な学習活動	評価規準と評価方法	
第一次 つかむ	1 2	○教師が作った「のりものじまんカード」を提示し、乗り物には「やく目」や「つくり」があること、それらは違って いることを知り学習課題を設定する。 ○学習計画を確認し、単元の見通しをもつ。	関 「のりものじまんカード」を通して乗り物の「やく目」や「つくり」について興味・関心をもっている。(行動観察・発言) 関 「のりものじまんカード」を作成することに関心をもっている。(行動観察・発言)
	3	○全文を読み、4 種類の船について書かれていることを知り、「やく目」と「つくり(くふう)」の構成になっていることに気づく。 ④挿絵を見ながら、出てくる4 種類の船について確認し合う。【ペア】	読 文型に着目し「やく目」の段落や「つくり(くふう)」の段落を見つけている。(行動観察・発言)
	4	○並行読書の仕方(乗り物の「やく目」や「つくり」を見つけたら、ふせんをはっていくこと)について知る。 ○新出漢字や読みかえ漢字、カタカナの書き方、読み方について知る。	関 乗り物の「やく目」や「つくり」について関心をもち、乗り物のことが書いてある本を進んで読もうとしている。(行動観察・発言)
	5	○きやくせんの「やく目」や「つくり」について読み取り、きやくせんの「のりものじまんカード」にまとめる。 ④なぜ、「客室」や「食堂」があるのかについて考えを深めながら、客船の自慢を探し合う。【ペア】	読 きやくせんの「やく目」や「つくり」について教材文や写真などから読み取り、「のりものじまんカード」にまとめている。(発言、ワークシート)
第二次 深める	6	○フェリーボートの「やく目」や「つくり」について読み取り、フェリーボートの「のりものじまんカード」にまとめる。 ④なぜ、「客室」と「車を止めておくところ」があるのかについて考えを深めながら、フェリーボートの自慢を探し合う。【ペア】	読 フェリーボートの「やく目」や「つくり」について教材文や写真などから読み取り、「のりものじまんカード」にまとめている。(発言、ワークシート)
	7	○ぎよせんの「やく目」や「つくり」について読み取り、ぎよせんの「のりものじまんカード」にまとめる。 ④魚の「群れ」の見つけ方や魚の「捕り方」について考えを深めながら、漁船の自慢を探し合う。【ペア】	読 ぎよせんの「やく目」や「つくり」について教材文や写真などから読み取り、「のりものじまんカード」にまとめている。(発言、ワークシート)
	8	○しょうぼうていの「やく目」や「つくり」について読み取りしょうぼうていの「のりものじまんカード」にまとめる。 ④火事の時のポンプやホースの使い方について考えを確かめ合う。【ペア】	読 しょうぼうていの「やく目」や「つくり」について教材文や写真などから読み取り、「のりものじまんカード」にまとめている。(発言、ワークシート)
	9	○「やく目」や「つくり」を整理して書いている文章と分けずに書いた文章を読み比べ、分かりやすい説明の仕方について考える。	読 「いろいろなふね」から分かりやすい説明の書き方について理解し、使われている基本的な文型が分かる。(発言、ワークシート)
第三次 広げる	10 11	○自分の選んだ乗り物について、読書資料等を読み取り「のりものじまんカード」にまとめていく。	読 「やく目」と「つくり」の工夫について関係付けて読み取り、整理して「のりものじまんカード」にまとめている。 言 主語、述語に気をつけて「のりものじまんカード」を書いている。(カード)
	12	○完成した「のりものじまんカード」の発表会をする。 ④「のりものじまんカード」の発表会を開き、感想を交流し	関 「のりものじまんカード」の発表会で友達のよかったところを見つけ感想を

13	合う。 ○単元の振り返りを行う。	【ペア→全体】	伝え合っている。 (発言)
----	---------------------	---------	------------------

6 本時の指導

(1) 目標

しょうぼうていの「やく目」や「つくり」について読み取り、「のりものじまんカード」にまとめることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点 ◇評価
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 しょうぼうていのじまんを見つけ、のりものじまんカードにかこう。	・ぎよせんの「やく目」、「つくり」について想起させ、本時のしょうぼうていの学習の意欲付けを図る。
見通す 5分	3 見通しを持つ。 ・学習場面を音読する。	・「～ためのふねです。」という言葉に着目することで「やく目」が分かることをおさえる。 ・「このふねは～います。」という言葉に着目すると、「つくり」がわかることをおさえる。
深める 25分	4 一人学びをする。 ・しょうぼうていの「やく目」にサイドラインを引く。 ・しょうぼうていの「つくり」にサイドラインを引く。 5 考えを深める。 ・ポンプやホースをどのように使い、火事を消すのか「やく目」と関連させて考える。 【ペア学習】 ねらい 火事の時のポンプやホースの使い方を出し合い、消防車と比較しながら考えの相違点を見つけ合うことで、多様な考えに気づく。 進め方 「さくらりタイム」で確認する。 広め方 一人の考えから、同じ考え同士、違う考え同志をつなげながら発表していく。 ・しょうぼうていについて、図鑑の一部や資料から見つけていた「つくり」のじまんについて全体で確認する。	・「やく目」と「つくり」にサイドラインを引かせ全体で確認をする。 ・しょうぼうていは火事を消すという「やく目」があるために、船の中の「つくり」も関連していることについて考える。 ・図鑑の一部や資料からもつくりのじまんを見つけていることができるように、事前からサイドラインを引かせておく。
まとめる 10分	6 学習のまとめをする。 ・見つけたりペア学習で分かたりしたじまんについて「のりものじまんカード」に書いてまとめる。 Bと捉えるまとめ方の例文 のりものじまんカード しょうぼうてい 【やくめ】 ・ふねの 火じを けす ためのふねです。 【つくり】 ・この ふねは、ポンプやホースを つんでいます。 ・しょうぼうていの「のりものじまんカード」を発表する。	・見つけたじまを「のりものじまんカード」に書く。 ◇ 「やく目」と「つくり」についてカードにまとめている。 【評価規準】 A しょうぼうていの「やく目」や「つくり」について教材文や写真、資料やさくらりタイムでの話し合いなどから読み取り、「のりものじまんカード」にまとめている。 B しょうぼうていの「やく目」や「つくり」について教材文や写真などから読み取り、「のりものじまんカード」にまとめている。 支援の手立て 「やく目」や「つくり」を表す文に着目させ

7 本時の学習を振り返る。

る。